

平成28年度 授業改善推進プランの公表について

平素より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

本校では、平成28年度の1学期に実施した各学力調査の結果、及び授業の振り返りを踏まえ、この度、「平成28年度授業改善推進プラン」を作成し、公表いたします。

今後とも日々の授業改善に努め、児童の学力の一層の向上を図っていきます。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

学力調査等に見られる本校の学力の実態・傾向

○「児童生徒の学力向上を図るための調査」(現5年)平成28年7月実施

本調査結果において、本校の平均正答率は、今年もおおむね東京都の正答率を上回りました。全体的な傾向として、成績は上位層・中位層が増え、下位層が減ってきています。東京ベーシックドリルへの取組や教科学習に照準を合わせた補習教室「にこにこ教室」の実施などが成果として表れました。B問題の正答率は、全教科で都の平均を上回りました。中でも、情報を読み取る力は全教科において、東京都の平均を上回っていました。

問題解決的な学習を意識して、児童が主体的に取り組める授業改善に、全教職員で取り組んでいることが効果を上げています。

《国語》・A問題は基礎的な知識・技能をみる問題です。平均正答率は、東京都の平均より高かったのですが、基礎的な漢字の読み書きに課題がありました。日常生活にも学習した漢字を活用できるように重点的に指導していきます。

・B問題は基礎的な力を活用して問題を読み解く力をみる問題です。これも都の平均を上回りました。情報の取捨選択・活用を通して課題を解決する力を付ける指導を行っていきます。

《社会》・A問題、B問題は共に、都平均を上回りました。

・基礎的な力は身に付いてきていますが、資料からいくつかの情報を読み取って、それをつなげて考え判断する力が弱いので、情報を比較したり関連付けたりする力を付けていく必要があります。

《算数》・B問題の知識・技能を活用する問題では東京都の平均を上回っています。習熟度別指導や補習教室が成果を上げています。

・A問題の基礎的・基本的な計算等の技能については若干課題が見られますので、練習問題に取り組む時間を確保すると共に繰り返し指導します。

《理科》・A問題、B問題ともに都平均を上回りました。

・知識・技能の定着を図るために、実験や観察の後で結果をしっかりとめさせるなど、授業改善を図ります。

《意識調査》・家庭学習の時間を1時間以上している児童がそうでない児童より平均得点率が15ポイントも高い結果となっています。朝ご飯を食べている児童はそうでない児童よりも全教科で5ポイントほど高い平均得点となっています。

○「全国学力・学習状況調査」(現6年)平成28年4月実施

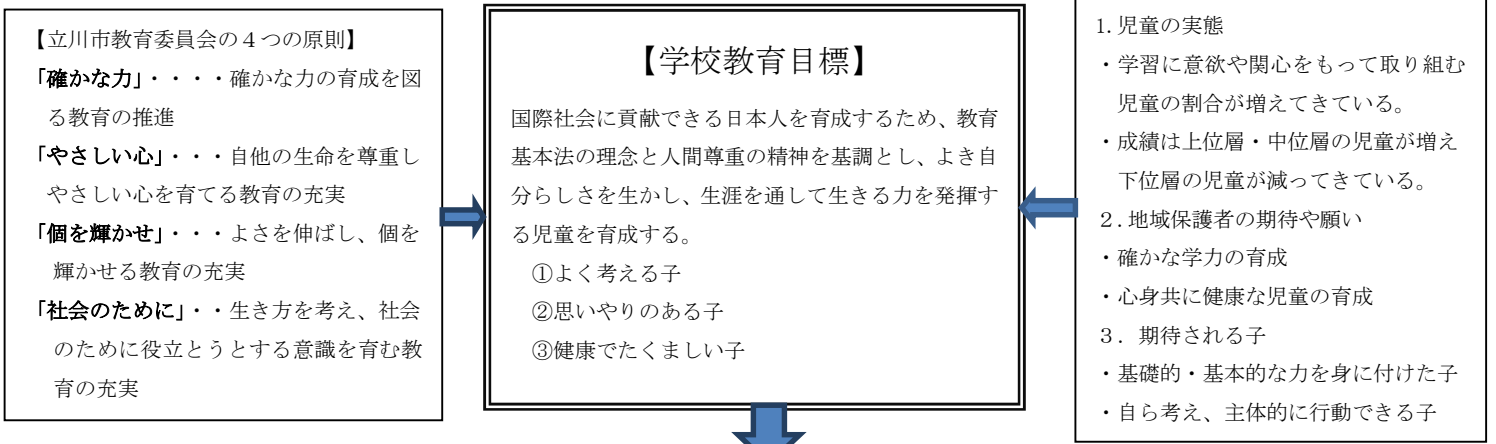
6年生にとっては、昨年度の都の調査に続く2度目の調査でした。本校の結果は、昨年度と同様に全国の平均とほぼ同等でした。中でも国語B問題では、全国、東京都の平均をともにやや上回りました。

また、質問紙調査でみると、全国・都の平均と比較して「友達と話し合うとき意見を最後まで聞くことができる」という項目でポイントを伸ばしました。逆に「毎日同じくらいの時刻に起きているか」という項目では、東京都や全国の平均よりもポイントが低かったようです。今後ともご家庭と連携しながら学力や体力の向上を図りたいと考えます。

○「東京ベーシック・ドリル」1学期診断テスト

3、4年生が、立川市の平均を上回っています。他学年もほぼ立川市の平均と同程度の得点率でした。粘り強くドリル学習に取り組み基礎学力の向上を図ります。

1. 立川市立第三小学校 授業改善推進プラン全体計画



本校の考える確かな力の育成

○学ぶ意欲 ○思考力・判断力・表現力 ○問題発見能力 ○課題発見能力 ○学び方 ○各教科における基礎・基本

【国語の授業改善のポイント】

- 語彙を増やすための辞典の活用や、日常生活で活用できる漢字指導などにより、基礎、基本の定着を図ります。
- 文学的文章では人物の心情や描写を図る記述に着目して読み取れるように指導します。
- 説明的文章では、要点を捉えたり、事実と意見の違いを読み取ったりできるように指導します。
- 相手や目的に応じて書きたいことが伝わるように書く指導の充実を図ります。

【社会の授業改善のポイント】

- 問題解決的な授業を行い、児童が主体的に調べたり考えたりできるように指導します。調べたことに対する自分の考えを表現することができるように指導します。
- 様々な資料から必要な情報を読み取り、取り出した情報の共通点や相違点を見付けることができるように指導します。
- 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える指導の充実を図ります。

【算数の授業改善のポイント】

- 数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けさせるように、三小タイムを中心にベーシックドリルに取り組ませます。
- 児童が問題場面を捉え、自分の考えを説明できるように、具体物や半具体物への置き換え、図や表を使って問題解決に取り組ませます。

【理科の授業改善のポイント】

- 基礎的・基本的な知識・技能を定着させるように指導します。
- 身の回りの自然や科学的事象に興味・関心が向くように指導します。
- 観察、実験結果を根拠を示しながら予想したり、考察したりする指導の充実を図ります。

【生活科の授業改善のポイント】

- できごとや学習したことの中から「考えたこと。気付いたこと」を友達や身近な人と伝え合いながらまとめさせます。

【音楽の授業改善のポイント】

- 学習のねらいや活動の流れを提示し、児童が見通しをもって、主体的に取り組めるように指導します。
- 児童が自分らしく自信をもって表現できるようにさせます。

【図工の授業改善のポイント】

- 学習のねらいや活動の流れを提示し、児童が見通しをもって、主体的に取り組めるように指導します。
- 空想の絵や見たものを自分なりの方法で表現したり、道具の正しい使い方を身に付けさせたりします。

【家庭科の授業改善のポイント】

- 製作や実習では、学習のねらいと最終的な目標を明確に示し、見通しをもって活動しながら、基礎的な知識・技能が身に付けられるようにします。
- 生活と結びついた題材を工夫します。

【総合的な学習の時間の授業改善のポイント】

- 課題解決に必要な資料を自分で見つけられるように見通しをもたせたり、資料から必要なことを読み取ったりできるように指導します。

【体育の授業改善のポイント】

- できごとや学習したことの中から「考えたこと。気付いたこと」を友達や身近な人と伝え合いながらまとめさせます。

【外国語活動の授業改善のポイント】

- 身に付けさせたい言葉や表現などに繰り返し、触れさせます。
- ALTのサポートを受けながらも、担任が主体となり、学級の児童の実態に合った指導ができるようにします。

2. 学力向上を目指した本校の取組

様々な教育活動の充実

①保護者・地域等の教育力を生かした支援授業の推進・充実

(さらに、楽しく力が伸びる授業への改善)

②読書環境の整備と読書タイム・読み聞かせの充実

(豊かな心の育成、全ての学力の基礎を築く読書好きの子どもたちに！ 思考力・表現力の育成)

③教職経験者・教職大学院生・インターンシップ学生・学生ボランティアなどによる学習支援の推進・充実

(個に応じたきめ細やかな指導、学ぶ意欲と達成感)

④習熟度別指導による指導の充実

三小タイム(朝学習)や補習による基礎・基本の充実

(個に応じたきめ細やかな指導、自己評価の活用)

学力向上のために、本校が大切にしている3つのこと

①人権教育の推進

◇全校で共通の約束(「学習のきまり」「言葉のやくそく」)を通して、学習規律を高めます。相手を尊重する態度を養い、互いに高め合う学習を進め、自己有用感・自己肯定感を高めます。

②教員の指導力・授業力の向上

◇教職員相互がそれぞれの指導技術や指導法を磨き合う場をつくります。教材研究を中心にOJT研修や、学年会等での研修によって授業改善に努めます。また、教室を開き、日常的に授業を公開し合います。

③家庭・地域との連携

◇家庭・地域と連携し、基本的な生活習慣の育成を目指します。家族同士・学校と家庭・地域との密接なコミュニケーションを通して健全な心を育成します。

3. 各学年の授業改善推進プラン

第1学年

教科	観点	児童の様子	改善のポイント
国語	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○8割の児童は、ひらがな50音が定着している。 ○「は」「を」「へ」などの助詞の正しい選択・表記が苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○繰り返しの学習の中で、定着させる。また、2学期以降はカタカナや漢字の学習が始まるので、同様に繰り返しの練習を通して、全員が定着を図れるよう指導する。 ○正しい表記で文が書けるよう、三小タイムや、普段のノート指導のなかで、定着させる。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○読み聞かせや読書に関心をもって取り組んでいる。 ○説明の順序や、登場人物の順序について、おさえることができる。 ○書かれていることを関係付けたり、人物の心情を捉えたり、自分の言葉で表現する力が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、読み聞かせや図書の時間を通して、知識を得たり、楽しんだりするための読書指導を行う。 ○繰り返しの学習の中で、さらに定着を図る。 ○立体的な板書で文章の構造を理解させ、「確認発問」「広げる発問」「深める発問」など、思考がすっきりするよう発問を工夫する。
算数	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○数の大小関係、足し算、引き算の式の意味を理解している。 ○ブロックやおはじきを使った10までの足し算・ひき算の計算は定着している。 ○10までの足し算、引き算は定着してきているが不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「10までの数」を即座に分解合成できるようになるために、ブロック操作や計算カードを使って練習する時間を確保し計算力の定着をはかる。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○文章問題から立式をすることが不十分である。 ○問題の解決方法を自分の言葉や図や絵で書いたり、話したりすることはまだあまりできない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文章の中で数や大切な言葉に着目させ、具体物を操作して立式をできるように指導する。 ○具体物や図、絵を使って表現する問題を授業の中で取り入れる。 ○考え方や、式の意味、計算方法を自分の言葉で説明するような学習形態をとる。
生活	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○植物や生き物・自然に親しみ、関心をもち、積極的に関わろうとする気持ちをもっている。 ○友達と一緒に仲良く遊んだり、話し合ったりする活動を好む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然や友達と関わる活動の機会を多く設定し、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができるようにする。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○活動を楽しみながら、それらを通しての自分なりの気付きをもっている。 ○自分なりに考えたり、工夫したり、表現したりすることを苦手とする児童の割合が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思った通りに絵が描けなかったり、文章に表せなかったりする理由でカードを書かない児童には、友達の表現や教科書の絵や文を参考に書かせたり、教師による聞き書きをしたりする。
音楽	知識 技能	<ul style="list-style-type: none"> ○体を動かしながら元気に歌ったり、鍵盤ハーモニカや打楽器を演奏したり、意欲的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、意欲的に学習に取り組めるよう、導入の工夫をする。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○歌詞や曲調を捉えて、曲に応じた歌い方をすることは不十分である。 ○友達の声や音を聞きながら、みんなで音楽をつくることは不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歌詞について考えたり、雰囲気を感じたり、豊かに曲想を感じられる場面を取り入れる。 ○音を音楽にしていけることを楽しめるように、グループで合唱や演奏する時間をとる。

図工	知識 技能	○工作や絵を描いたりすることは意欲的に取り組んでいるが、はさみやのりなどの用具の扱い上手ではない。	○手を十分に働かせて、用具を使えるように、基本的な取り扱いを指導し、たくさん体験させる。
	思考力 判断力 表現力	○自分なりにテーマをもって絵を描いたり、工作をしたりすることに苦手意識を感じている児童が多い。	○題材の提示方法や作例の示し方を工夫したり、友達の作品に触れたりして発想を広げられるようにしていく。
体育	知識 技能	○体を動かすことを好み、友達と楽しく運動することができる。 ○基礎的な技能が身に付いてなく、持久力がない児童が多い。 ○器械・用具を使った遊びで、体を支えたり、ぶら下がったり、跳び乗ったりする動きを苦手とする児童が多い。	○楽しく、運動量の多い体育の学習の流れをつくり、継続していく。 ○遊びの中で基礎的な技能が身に付くよう、ポイントを押さえた指導を行うと共に、様々な場の設定を工夫する。
	思考力 判断力 表現力	○簡単な規則を守り、運動することができる。 ○友達の動きの良いところにまで、目が向かない児童が多い。	○より楽しめる運動ができるように、規則を選択できる活動計画を設定する。 ○友達の動きの良さに気付けるように、動きの良さを示す視点を多く提示する。

教科	観点	児童の様子	改善のポイント
国語	知識 技能	○新出漢字や言葉に興味をもって学習しているが、学習内容の定着や語彙力に個人差がある。	○宿題やミニテストで、日常的に言葉の学習を習慣付ける。
	思考力 判断力 表現力	○事柄の順序や内容のまとまりを意識して文章を書くことができない児童がいる。 ○文章の中から大事な言葉や文を書き抜くことができるが、自分の考えをまとめることが難しい。	○順序を表す言葉や簡単な文章構成を意識して、文章を書くよう指導する。 ○本文の言葉に着目し大事なことを押さえる。 ○友達との交流活動を通じて、自分の考えを広げたり、自信をもたせたりする。
算数	知識 技能	○個々の基礎的な技能や知識の定着に差がある。 ○文章問題や、問題文を読み取る力が十分でない。	○繰り上がりのたし算、繰り下がりのひき算の習熟に重点を置き、計算力の定着を図る。 ○問題文の中からキーワードとなる言葉を押さえる。
	思考力 判断力 表現力	○必要な情報を取り出したり、情報を整理したりする力に課題がある。 ○自分なりの方法で、考えを表現する力が十分でない。	○問題場面を具体物でイメージしたり、半具体物を操作したりして、たし算、ひき算のちがいを理解し、立式させる。 ○図、絵を使って考えを表現したり、操作活動を授業に取り入れたりしながら、自分の考えを説明する力を身に付けさせる。
生活	知識 技能	○校舎内の様子や校庭の花壇、畑などにどんなものがあるのか探索し、気付いたことを友達と話し合うなどしている。	○社会および自然に対する児童の思い・願いや課題を大切にして、意欲的な活動をさせる。 ○グループや学級全体の伝え合う活動を通して、新たな事実を発見させたり、事実同士のつながりや関連に気付かせたりする。 ○安全教育や生命に関する教育を充実させる。
	思考力 判断力 表現力	○野菜の成長の様子をカードに記録したり、生き物を飼育したりして、日常生活の変化を楽しんでいる。	○学習活動において、見る、聞く、嗅ぐ、触るなどの諸感覚を使って、様々な表現をさせる。
音楽	知識 技能	○音楽に対して興味・関心が高い。声を合わせて歌うことや鍵盤ハーモニカの技能に自信のない児童も見られる。	○体の動き、声や音を通して表現する活動を取り入れ、楽しみながら表現できる工夫をする。 ○鍵盤ハーモニカの個別指導を取り入れる。
	思考力 判断力 表現力	○楽曲の気分を感じ取って聴いたり、音楽を形づくっている要素に気が付いたりして、感じたことを言葉に表すことが難しい。	○児童が親しみやすい内容の歌詞やリズム、旋律をもつ教材を取り上げる。 ○聴く楽しさを味わわせるように、主な旋律を口ずさんだり、体を動かしたりして、感じ取らせるようにする。

図工	知識 技能	○思いや願いをもって、はさみ、のり、テープを使って作品作りをしている。	○用具の正しく安全な使い方を身に付けさせ、用具を効果的に用いた作品づくりをさせる。 ○学習のねらいや活動の流れを提示し、見通しをもち、主体的に取り組めるよう工夫する。
	思考力 判断力 表現力	○様々な材料から必要な物を選んで、作品作りをしている。	○自分の表現で自分の表したいことを描いたり造形したりして、言葉をそえて伝えられるようにしていく。 ○様々な材料から、その素材のよさを生かした作品づくりをさせる。 ○児童作品を展示し友達の表現にふれさせる。
体育	知識 技能	○かけっこや鬼ごっこなど、楽しく行っている。ボール、縄跳び、跳び箱、マットなど多様な器具、道具を使って運動感覚を身に付けようとしている。 ○走る、投げる、捕る、回るなどの基礎的な技能が身についている児童が少ない。	○動きのポイントを理解させ、実践させる。 ○身体操作感覚を育てる時間を年間通して確保する。 ○日常的に楽しめる運動を授業で取り入れ、体力の向上を図る。
	思考力 判断力 表現力	○運動を楽しく行えるために遊び方を工夫したり、規則を選んだりする力が十分ではない。	○自らのめあてを書かせ、意識させて授業に取り組むようにさせる。 ○ゲームは楽しく活動できるように、簡単な規則で行い、楽しくゲームができる場や得点の方法などの規則を選べるようにする。

	観点	児童の様子	改善のポイント
国語	基礎 基本	○新出漢字や言葉に興味をもって学習しているが、学習したことの定着や語彙力に個人差がある。 ○大きな声で正しく音読できている。	○宿題やミニテストで、日常的に言葉の学習を習慣付ける。
	思考力 判断力 表現力	○事柄の順序や内容のまとまりを意識して文章を書くことができない児童がいる。 ○文章の中から大事な言葉や文を書き抜くことができるが、自分の考えをまとめることが難しい。	○順序を表す言葉や簡単な文章構成を意識して、文章を書くよう指導する。 ○本文の言葉に着目し大事なことを押さえたり、考えを広げたり、自信をもたせたりする。
社会	基礎 基本	○地図記号を正しく理解している児童が多い。 ○東西南北を理解しているが、日常生活での方位の理解が十分ではない。	○教室に東西南北を掲示し、地図を見る時は四方方位を確認させる。
	思考力 判断力 表現力	○見学や各種資料を調べて分かったことを自分の身の回りのくらしや生活と関連付けて、自分の言葉で表現できる児童が少ない。 ○地図を中心とした資料を正確に読み取ることに課題がある。	○見学や各種資料を調べて分かったことをノートやワークシートなどに表現できるように指導する。 ○地図を身近に置き活用する場面を増やし、方位や距離感覚、位置、地形や地図情報を読み取る力を指導していく。
算数	基礎 基本	○個々の基礎的な技能や知識の定着に差がある。 ○問題文を読み取る力が十分でない。	○基礎基本計算の習熟に重点を置き、計算力の定着を図る。 ○問題文のキーワードを丁寧に押さえる。
	思考力 判断力 表現力	○あまりのあるわり算の文章題の意味を理解できていない児童もいる。自分の考えを友達に説明することが苦手な児童が少なくない。	○自分の考えを図で表してから立式する時間を確保する。学び合いの場を設定し、目的をもった話し合いをさせる。
理科	基礎 基本	○身の回りの自然に興味・関心があり、継続的に観察できる児童が多い。 ○実物を見て、細部まで観察し、特徴を捉える力が十分でない児童がいる。	○身の回りの自然や、科学的事象に興味・関心が向くように日常的に言葉かけをしていく。 ○学習したことを生活でも生かせるように環境を整備したり、言葉かけをしたりする。
	思考力 判断力 表現力	○実験・観察では何を明らかにするのかを理解し、ねらいにそった視点で実験や観察を行う力が乏しい。 ○実験・観察を通して気付いたことを既習事項と比較して、文に書いたり発表したりできる児童が少ない。 ○実験して分かったことを別の事象に結びつけて考えられる児童が少ない。	○課題を明らかにし、何を調べ考えるのかを明確に捉えさせる。 ○何をねらいとして、どんな方法で観察したり実験したりするのかを、正確に捉えさせる。 ○実験して分かったことを日常生活に繋げられるようにする。
音楽	基礎 基本	○姿勢や口の開け方、リコーダーの基本的な奏法共に、定着している児童とそうでない児童とで個人差が大きい。	○言葉かけだけでなく掲示物を用い、毎時継続して指導を続けていく。全体指導だけでなく、友達同士でアドバイスし合う場面を作るなど授業形態を工夫する。
	思考力 判断力 表現力	○一人又はペア等で歌や演奏を発表することに意欲的な児童が多いが、友達の発表を注意深く聴くことに課題がある。 ○友達の歌声を聴いて、良かったところを発言できる。	○楽しく、集中して聴く活動を短時間で多く取り入れ、定着をはかる。音楽を聴くときは、必ずめあてをもって聴かせるようにする。

図工	基礎 基本	○図画工作に興味関心はあるが、絵を描くことに苦手意識をもっている児童が少なくない。	○工作の授業と授業の間に絵を入れて、絵も工作と同じように楽しんでつくっていくことを体験させる。
	思考力 判断力 表現力	○作る喜びを味わっている様子が見られるが、表現活動全般において、自分なりに表現する力が不十分である。	○児童作品や作家の作品を鑑賞し、感想を伝えることのできる場や、友達の表現から学ぶ場を多く設定する。
体育	基礎 基本	○音楽を使って軽快なリズムに乗って体を動かし、運動の楽しさを味わうことができる。 ○体力テストの様子より持久力に課題が残る。	○身体操作感覚を育てる時間を年間通して確保する。 ○年間を通して、持久走やなわとびを日常的に行い、持久力の向上を図る。
	思考力 判断力 表現力	○めあてをもって運動できたり、自分の目標を決めて取り組んだりできる児童が少ない。 ○チームで考えた作戦を実行しようとする姿は見られるが、確実に実行できない。	○自らのめあてや目標を意識させて授業に取り組むようにさせる。 ○チームの作戦を実行するためにチームで練習したり、話し合ったりする時間を設ける。
総合	基礎 基本	○ヤゴやホタルの環境学習を始めとし、意欲的で興味関心をもっている児童が多い。	○自ら課題を発見できるよう、様々な資料に触れさせ、調べ方の方法を理解させる。
	思考力 判断力 表現力	○学んだこと・観察したことから学んだことを生かして、自分の意見や考えに反映し、表現することができる児童が少ない。	○学んだ情報を生かし、自分の意見や考えを明確に表現できるようにさせる。

教科	観点	児童の様子	改善のポイント
国語	基礎 基本	<ul style="list-style-type: none"> ○国語全般においての意欲や関心は比較的高い。文章を書くことが好きな児童は多いが、段落等のルールを理解できていない児童もいる。また、文章を書くことにおいて、個人差が大きい。 ○漢字の学習に対する意欲はあるが、語彙力は定着が不十分である。 ○大きな声で正しく音読できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字辞典や国語辞典を積極的に活用し、言葉の意味を調べたり、考えたりすることで、基礎・基本の定着を図る。 ○中心や段落を意識し、正しい表記で文が書けるように、作文や日記の学習を通して指導する。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の意見を発表できる。 ○文の中心となる言葉や文にサイドラインを引き、学習しているが、筆者の主張を的確に読み取ったり、要点をまとめたりすることが苦手である。 ○物語文の学習では、熟語の意味を理解して読んでいる児童は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中心を意識して、話したり聞いたりできるように指導する。 ○文の中心となる言葉や文を使用した要点のまとめ方をくり返し指導する。 ○漢字辞典や国語辞典を活用し、熟語の意味を調べる活動を増やす。
社会	基礎 基本	<ul style="list-style-type: none"> ○社会科への興味・関心は高い。 ○校外学習、出前授業など体験的な学習を好む。 ○調べる学習では、意欲的に取り組む児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○調べ学習や体験的な活動を通して、問題を解決する力を育てる。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○調べることはできるが、資料を活用する力が十分ではない。 ○自分で考えたり、まとめたりする力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料の読み方をおさえ、新聞等で取り入れることで、活用する力を育てる。 ○自分たちの生活に関連付けて学習したり、具体物・具体的な資料を用意したりして、自分の考えをもたせる指導の工夫をする。
算数	基礎 基本	<ul style="list-style-type: none"> ○四則計算の基本的な計算力は身に付いてきているが、かけ算のきまりの習得が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○1つ分×いくつ分のかけ算のきまりを繰り返し練習する。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○文章問題を苦手に考えている児童が多く、計算式の意味と結び付けられていないことが多い。 ○自分の考えを友達に説明することが苦手な児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文章題の題意が読み取れるように指導し、理解が深まるようにしていく。 ○自分の考えを式や図で視覚化できるように指導し、学び合いの場を設け、言葉による表現力を身に付けさせる。
理科	基礎 基本	<ul style="list-style-type: none"> ○へチマの観察を始めとし、動植物の観察・飼育に興味関心があり、継続的に観察できる児童が多い。 ○実験に意欲的に取り組み、協力し合ってすすめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの自然や、科学的事象に興味・関心が向くように日常的に言葉かけをしていく。 ○学習したことを楽しさだけで終わらないよう、まとめたり復習したりしていく。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○観察したことを色・大きさ・形等に着目し、細部まで観察して気付いたことを文に表現することができる。 ○意欲的に実験するが、「なぜ? どうして?」といった、推論・実験・結果を考えたり、説明したりする力を付ける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○何をねらいとして、どんな方法で観察し、実験するのかを、正確に捉えさせる。 ○実験・観察して気付いたことを言葉や文章で発表し合う場の充実を図る。 ○実験して分かったことを日常生活へ繋げ、新たな課題がもてるようにする。

音楽	基礎 基本	<ul style="list-style-type: none"> ○学習意欲が高い児童が多い。 ○歌唱、器楽共に基本的な姿勢や奏法などが定着している児童が多い一方で、個人差も見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歌うときの姿勢、口の開け方、表情、リコーダーの基本的な奏法などの指導を繰り返し行い、徹底していく。 ○常時、活動でペア学習を取り入れ、児童同士で良いところやアドバイスを伝え合うようにする。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○曲についての思いや自分の演奏を積極的に発表できる児童がいる一方で、苦手意識をもっている児童もいる。 ○グループやペアで活動する中で、意見を活発に出し合ったり、すすんで工夫を考えたりする姿が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人が出した意見を全体に返したり、グループで話し合わせたりして、友達との関わりの中で自分の考えをもてるようにする。
図工	基礎 基本	<ul style="list-style-type: none"> ○描くこと、つくることに興味・関心を示す児童が多く、意欲的に取り組んでいる。お互いの作品を見せ合ったりする相互交流が多く行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいや活動の流れを提示し、児童が見通しをもって主体的に取り組めるようにする。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○全体的な傾向として、日常の見慣れているものへの観察力が不十分である。 ○つくる喜びを味わっている様子が見られるが、表現活動全般において、自分なりに表現する力が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○意図的にものを見る目を養い、形や色の美しさや面白さに気付かせ、そこから得たイメージを表現活動に活用できるようにさせる。 ○児童作品や作家の作品を鑑賞し、感想を伝えることのできる場や、友達の表現から学ぶ場を多く設定する。
体育	基礎 基本	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽に合わせて、軽快なリズムにのって踊ることができる。 ○中休みや昼休みに意欲的に体を動かすことができる児童が多い。 ○体力テストの様子から、投力と筋持久力に課題が残る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身体操作感覚を育てる時間を年間を通して確保する。 ○年間を通して、持久走やなわとびを日常的に行い、豊富な運動量を確保する。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○グループで協力してアイデアを出し合って活動できる。 ○運動のコツを見付けたり、友達のがんばりを見付けたりすることに意欲的である。 ○個人のめあてを立てて運動を行ったり、作戦を立ててゲームしたりできるが、確実に実行することができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○お互いに励ましたり、助け合ったりする場を増やす。 ○自らの課題を設定し、振り返ることで意味をもって活動する。 ○グループ、ペアなどでの関わり合い、課題の設定や振り返り、まとめる、作戦を立てるなど、伝え合ったり表現し合ったりする場を意図的に取り入れ、言語活動を充実させる。
総合的な学習	基礎 基本	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な資料や文献から自らの課題を設定することができる児童が多い。 ○疑問や新たな課題をもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら課題を設定できるよう、今後も様々な資料に触れさせ、調べ方の方法を理解させる。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○調べたことや交流したことから、学んだことをまとめることができる。 ○資料の内容をそのまま書き写している児童が多い。 ○資料や事象から読み取った情報を活かし、自分の意見や考えを明確に表現しようと努力できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○2つ以上の資料や事象を比較したり関連付けたりしながら、必要な情報を読み取る活動を多く取り入れる。 ○要点をまとめる活動や箇条書き等の方法を伝え、活かせるようにする。 ○資料や事象から読み取った情報を活かし、自分の意見や考えを明確に表現できるようにさせる。

教科	観点	児童の様子	改善のポイント
国語	基礎 基本	○国語全般に付いての意欲や関心は比較的高い。しかし、基礎・基本の定着はできていない。 ○漢字の読み書き・言葉については、ドリルやテスト等で繰り返し練習、評価しているが、十分とは言えない。	○言葉の意味を調べたり、考えたりすることで、基礎・基本の定着を図る。 ○漢字辞典や国語辞典を積極的に活用させる。 ○ドリルやテスト等で繰り返し練習させる。
	思考力 判断力 表現力	○自分の意見を発表できるが、考えたことや伝えたい事などを的確に表現することが苦手である。 ○「書くこと」については、伝えたい事を分かりやすく書けないことが多い。 ○筆者の主張を的確に読みとったり、要点をまとめたりすることが苦手である。また、自分の考えを、適切な方法で表現する力も不十分である。	○中心を意識して、話したり聞いたりできるように指導する。 ○文の基本構造や中心や段落を意識して文章を書けるように指導する。 ○説明文の学習は、文の中心となる言葉や文にサイドラインを引き、要点をまとめられるように指導する。
社会	基礎 基本	○方位や都道府県等の知識や、地図やグラフ等の資料の読み取りに関する知識量に個人差が大きい。	○資料の基本的な見方や学び方を示し、個人差に対応する。 ○基本的な知識については、折に触れ繰り返し指導するようにする。
	思考力 判断力 表現力	○調べたことを比較したり関連付けたりして考える方法に慣れていない児童が多い。 ○調べたことをもとに、自分の考えをまとめ、表現することが苦手である。	○授業の中で比較したり関連付けたり総合的に考えさせたりする発問を取り入れる。 ○ノートの書き方を工夫し、毎時間の振り返りを書かせることで、学んだことに対する自分の考えを表現することに慣れさせる。
算数	基礎 基本	○四則計算の基本的な計算力は付いてきているが、個人差があり、継続的な計算練習が必要な児童もいる。	○基本的な四則計算を繰り返し練習させ、計算力の定着を図る。
	思考力 判断力 表現力	○文章問題を苦手に考えている児童が多く、計算式の意味と結び付けられていないことが多い。 ○自分の考えを自信をもって発表することに消極的な児童が多い。	○文章題の題意が読み取れるように指導し、理解が深まるようにしていく。 ○自分の考えを式や図で視覚化できるように指導し、言葉による表現力を身に付けさせる。
理科	基礎 基本	○観察・実験は意欲的に行っている児童が多いが、目的意識が低い児童が見られる。	○実験の問題意識を児童から出させる授業づくりを行い、実験の目的意識をもたせる。
	思考力 判断力 表現力	○学習課題についての解決するための方法や順序についての理解が不十分である。 ○実験をして終わりになってしまい、そこから結論を出すことを苦手とする児童が見られる。	○板書計画、ノート計画を立て、科学的な思考を養うことができるように指導していく。 ○実験、観察の結果を図や表を使ってまとめることに慣れさせ、結果からその意味や規則性を導き出すことができるようにする。
外国語	基礎 基本	○単元の学習をしている時は、習った表現に慣れ親しんで使っているが、時間が経つと忘れてしまう。	○年間を通して、身に付けさせたい言葉や表現などを繰り返し、触れさせる。
	思考力 判断力 表現力	○身体表現やゲーム、歌などに楽しんで取り組んでいるが、単なるゲームや活動になってしまうことがある。	○ALTのサポートを受けながらも、担任が主体となり、児童の実態に合った学習内容、学習環境を整えていく。

音楽	基礎 基本	<ul style="list-style-type: none"> ○学習意欲や、基本的な学習の定着に大きく個人差がある。 ○全体的に、歌唱の場面で自分から生き生きと表現しようとする児童が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の中での学び合いの場面を設けたり、学習の中で目標をもたせ、達成感を味わえるよう指導する。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽について自分から考え、思いをもつことや、発表することに対して消極的な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○間違えたり失敗したりしても、児童が努力したことを認め、全体で共有する。 ○友達のよいところを見付けたり、教え合ったりする活動を継続していく。
図工	基礎 基本	<ul style="list-style-type: none"> ○工作には興味・関心を示す児童が多いが、絵の方は苦手意識をもっている児童が少なくない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいや活動の流れを提示し、児童が見通しをもって主体的に取り組めるようにする。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○全体的な傾向として、人を平面に描くことに苦手意識をもっている。 ○表現活動全般において、自分なりに表現することに自信をもつことが不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人を見て描く機会を多くもたせ、そこから得たイメージを表現活動に活用できるようにさせる。 ○児童作品や作家の作品を鑑賞し、感想を伝えることのできる場や、友達の表現から学ぶ場を多く設定する。
家庭科	基礎 基本	<ul style="list-style-type: none"> ○生活体験が少ない児童が多く、製作や実習の内容を説明や板書だけで理解できる児童は少ない。 ○教科書の内容だけでは、なかなか自分の生活と結びつかないようである。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教師の示範により、製作や実習をイメージできるようにし、スモールステップで技能の定着を図る。 ○家庭生活への関心が高まるように、生活と結びついた題材を工夫する。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○学習したことを元に、自分の生活で実践したり、自分の家庭生活をよりよくするための工夫を考えたりできる児童は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○チャレンジシートを作成し、学んだ事を家庭で実践し、保護者にチェックしてもらうような工夫をする。
体育	基礎 基本	<ul style="list-style-type: none"> ○運動が好きな児童が多く、前向きに取り組むことができる。意欲的に活動に参加できる児童が多い。 ○学校生活全体での運動量が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身体操作感覚を育てる時間を年間を通して確保する。 ○年間を通して、持久走やなわとびを日常的に行い、豊富な運動量を確保する。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○グループで協力して活動することができないことがある。 ○グループ、ペアなどでの関わり合いが不十分なために、課題の設定や振り返りができない場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○グループでの活動を取り入れ、お互いに励ましたり、助け合ったりする場を設定する。また、自らの活動や考えを振り返る。 ○グループ、ペアなどでの関わり合い、課題の設定や振り返り、まとめる、作戦をたてるなど、伝え合ったり表現し合ったりする場面を意図的に取り入れ、言語活動を充実させる。
総合的な学習	基礎 基本	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマをもとに、興味や関心もち、自分の課題を設定することができる。 ○必要な資料を積極的に収集する態度を育てていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題解決に必要な資料を自分で見つけられるよう、学習に見通しをもたせる。
	思考力 判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○2つ以上の資料から比較したり、関連付けたりすることが難しい。 ○資料から読み取ったことに対して、考えをもつことが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○2つ以上の資料から、必要な情報を読み取り、関連づける活動を多く入れていく。 ○資料から読み取った情報を生かし、学習や生活につなげて考えていく機会を設けていく。

教科	観点	児童の様子	改善のポイント
国語	知識 技能	○語句や表現方法の理解については個人差が見られる。 ○習熟した漢字について日常的に使おうとする児童が少ない。	○日常的な読書活動を推進し、様々な語句や表現に触れさせる。 ○作文や日記など繰り返し学習する教材を利用し、漢字を使おうとする態度を養い、漢字の定着化をはかる。
	思考力 判断力 表現力	○説明文の学習では、中心となる言葉や文にサイドラインを引くことができる。 ○自分の考えや思いを書くことはできるが、発表することに課題が見られる児童が多い。	○要旨をまとめる方法を段階的に指導し、自分の力でまとめることができるようにする。 ○授業中に発表できる気持ちや雰囲気作りを進め、自分の言葉で伝えることができる力を養う。
社会	知識 技能	○資料の読み取りの力が身に付いてきている。 ○歴史の知識について覚えられている児童とそうでない児童の差が見られる。	○歴史にはつながりがあるので、つながりを明確にし、既習する単元の前と関連させながら授業を行っていく。また、学習と関連した話をすることで記憶に残るような授業を行う。
	思考力 判断力 表現力	○知識を覚えることが十分にできる児童がいるが、その知識を用いた応用問題には困難な児童が多く見られる。	○授業の中で一問一答形式だけの発問だけではなく、オープンエンドな発問を多くし、自分の考えをもったり、歴状の人物の関係性を表したりする活動を取り入れていく。
算数	知識 技能	○わり算や小数の計算の仕方を忘れている子が少なくない。	○授業の中で基本の計算の仕方を振り返らせる時間をとる。
	思考力 判断力 表現力	○問題文をじっくり読み取ろうとせず、早合点したり、あきらめてしまったりする傾向が見られる。	○問題解決の手だてとして、図や表の活用ができるようにする。児童同士で説明し合う時間をとる。
理科	知識 技能	○実験方法を理解できる児童が多く見られる。 ○目的意識が低い児童が見られる。	○実験の問題意識を児童から出させる授業づくりを行い、実験の目的意識をもたせる。
	思考力 判断力 表現力	○基礎的な知識を理解している児童は多いが、実験で思考が終わってしまい、日常化することができていない児童が多く見られる。	○実験から学んだことが日常生活にどのようにつながり、生かされているのかを考えさせる。 ○実験、観察の結果を図や表を使ってまとめることに慣れさせ、結果からその意味や規則性を導き出すことができるようにする。
外国語 活動	知識 技能	○その単元を学習している時は、習った表現に慣れ親しんでいるが、時間がたつと忘れてしまう。	○年間を通して、身に付けさせたい言葉や表現に触れさせる機会を授業の中に入れる。
	思考力 判断力 表現力	○コミュニケーション場面において、発話に自信をもってできないことがある。	○ALTのサポートを得ながら、担任が主体となり、児童の実態や学習段階を考えた単元計画をしていく。

音楽	知識 技能	<p>○歌唱には意欲的に取り組み、姿勢や口の開け方を意識できている児童が多い。</p> <p>○リコーダーに苦手意識をもっている児童が多い。</p>	<p>○歌唱、器楽共に、基本的なことを毎回ふり返りながら、継続して指導していく。</p>
	思考力 判断力 表現力	<p>○友達の演奏や歌声を聴いて、視点に沿ってよいところを見つけたり、アドバイスしたりすることができる。</p> <p>○曲の特徴をつかみ、思いをもつことはできるが、どのように表現するかについて意見を言える児童は少ない。</p>	<p>○音楽の共通事項を掲示し、言葉での説明だけでなく活動の中で多く触れることで、理解させていく。</p> <p>○ペアや少人数で話し合わせたり、演奏を聴き合わせたりして、友達との関わりの中で自分の意見をもてるようにする。</p>
図工	知識 技能	<p>○工作には興味・関心を示す児童が多いが、絵の方は苦手意識をもっている児童が少なくない。</p>	<p>○学習のねらいや活動の流れを提示し、児童が見通しをもって主体的に取り組めるようにする。</p>
	思考力 判断力 表現力	<p>○全体的な傾向として、人を平面に描くことに苦手意識をもっている。</p> <p>○表現活動全般において、自分なりに表現することに自信をもつことが不十分である。</p>	<p>○児童作品や作家の作品を鑑賞し、感想を伝えることのできる場や、友達の表現から学ぶ場を多く設定する。</p>
家庭科	知識 技能	<p>○生活体験が少ない児童が多く、裁縫や調理の説明や板書だけで理解できる児童は少ない。</p> <p>○教科書の内容だけでは、なかなか自分の生活と結び付かないようである。</p>	<p>○教師の示範を見せることにより、製作や実習を自分のものとし、イメージできるようにする。</p> <p>○なるべく生活と結びついた題材を取り上げることにより、家庭生活への関心が高まるようにする。</p>
	思考力 判断力 表現力	<p>○学習したことを元に、自分の生活で実践し、自分の家庭生活をより良くするための工夫を考えることのできる児童は少ない。</p>	<p>○チャレンジシートを作成し、学んだ事を家庭で実践し、保護者にコメントをもらうような仕組みを作る。</p>
体育	知識 技能	<p>○身体操作感覚を育てていく必要がある。</p>	<p>○身体操作感覚を育てる時間を体づくり運動などを計画的にとり、年間を通して感覚を養っていくことができるようにする。</p>
	思考力 判断力 表現力	<p>○技能重視になってしまい、思考しながら運動している児童が少ない。</p> <p>○技能ポイントを理解し、自分の課題をもって授業に取り組めるようにしていく必要がある。</p>	<p>○体育ノートを活用し、自らの活動や考えを振り返ることを通して、自分の課題を把握できるようにする。</p> <p>○運動のポイントを明確にし、自分の課題を解決する道筋を児童が自ら見付けられるような授業づくりをする。</p>
総合的な学習	知識 技能	<p>○課題解決に必要な資料を図書資料やインターネットを使って、収集するのに個人差がある。</p>	<p>○課題解決に必要な資料を自分で見付けられるよう、学習に見通しをもたせる。</p>
	思考力 判断力 表現力	<p>○2つ以上の資料から比較したり、関連付けたりすることが難しい。</p> <p>○調べたことと自分の考えを関連づけて、まとめることが難しい。</p>	<p>○2つ以上の資料から、必要な情報を読み取り、関連づける活動を多く入れていく。</p> <p>○調べたことだけで終わらないよう、自分の考えを書く機会をつくるようにする。</p>